

「指導者養成事業」に関して
①NEAL及びCONEについて
②国立青少年教育振興機構に求めることについて

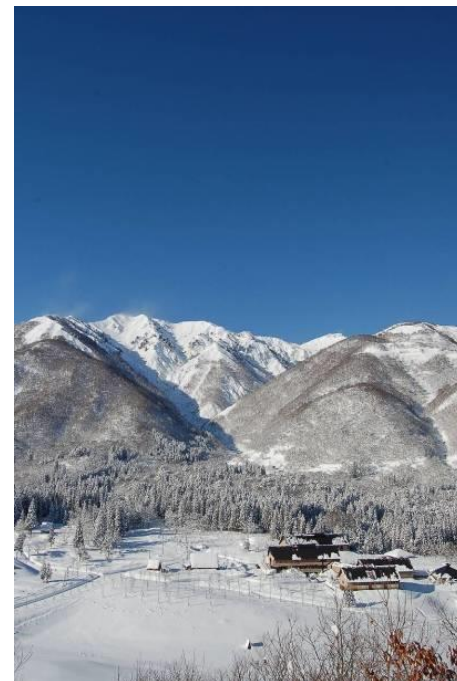
国立青少年教育施設の振興方策に関する検討会
(第4回 2025.2.4)

山田俊行
(自然体験活動推進協議会 副代表理事)

自己紹介

山田俊行（やまだ としゆき）

- 鹿児島県出身
- 1997-2004年 森林たくみ塾
- 2004年- NPO法人白川郷自然共生フォーラム
（トヨタ白川郷自然学校）
- 2011-2013年 安藤百福記念自然体験活動指導者養成センター事務局長（出向）
- 2015年- トヨタ白川郷自然学校 学校長



就任している委員など (赤字：自然体験系指導者育成に関係あり)

- ・ **自然体験活動推進協議会 (CONE) 副代表理事**
- ・ NPO日本ロングトレイル協会 理事
- ・ **Japan Outdoor Leaders Award (JOLA)運営委員会委員長**
- ・ NPO環白山保護利用管理協会 理事 白山国立公園
公園管理団体
(環境省)
- ・ 安藤百福記念アウトドアアクティビティセンター諮問委員
- ・ 日本野外教育学会 理事
- ・ **国際自然環境アウトドア専門学校教育課程編成委員**
- ・ ぎふ森のある暮らし推進協議会 会長 グリーンツーリズム
(農水省)
- ・ ぎふの田舎へ行こう推進協議会 会長 森林サービス産業
(林野庁)
- ・ **川と山のぎふ自然体験活動の集い 実行委員**
- ・ **東海インタープリターネットワーク 世話人**
- ・ ひだの未来の森づくりネットワーク幹事
- ・ 白川村立白川郷学園学校運営協議会 会長
- ・ 白川村伝統的建造物保存地区審議会 委員
- ・ 白川郷まるごと体験協議会 副会長
- ・ 白山白川郷トレイルクラブ事務局長
- ・ 合掌街道実行委員会副委員長
- ・ 白山林道地元協力会委員
- ・ 白山遭難対策協議会委員
- ・ 白川村商工会 役員
- ・ 白川村区長会
- ・ 鳩谷下組焼き鳥の会世話人 など

Q.なぜ自然学校が必要なのか

本題の前に…

A.自然体験を「補給」しなければならない

現代社会だから

- ITの進化（VR、Metaverse、AI等）でリアル体験の機会が減少
- この流れは当分止まる気配なし
- 一人ひとりの実感・納得・本音を確保する社会システムが必要。特に子供にとって。
- そのひとつが体験教育の促進
- 特に**自然体験教育はすべての学びの基盤づくりに貢献**
- 大人にとっても自然体験は活力や癒しを得られる場
- **自然体験を「補給」することは現代社会への処方薬**

自然体験の意義と社会課題

本題の前に…
その2

感性を育む手段の一つとして

「情報化社会だからこそ直接体験を」
現代社会では、子供が育っていく中で「**生の**」**現実との接触**が少なくなっています。こうしたことを考えるなら、教育の中で、例えば**自然環境にじっくりと漬け込んで様々な体験をさせる**、などの取り組みをすべきでしょう。

（梶田叡一「人間教育の道 40の提言」金子書房 2022）

梶田叡一 氏 ： 教育評価の専門家

聖ウルスラ学院理事長、日本語検定委員会理事長、元 中央教育審議会副会長、元 京都大学教授、元 兵庫教育大学学長など。

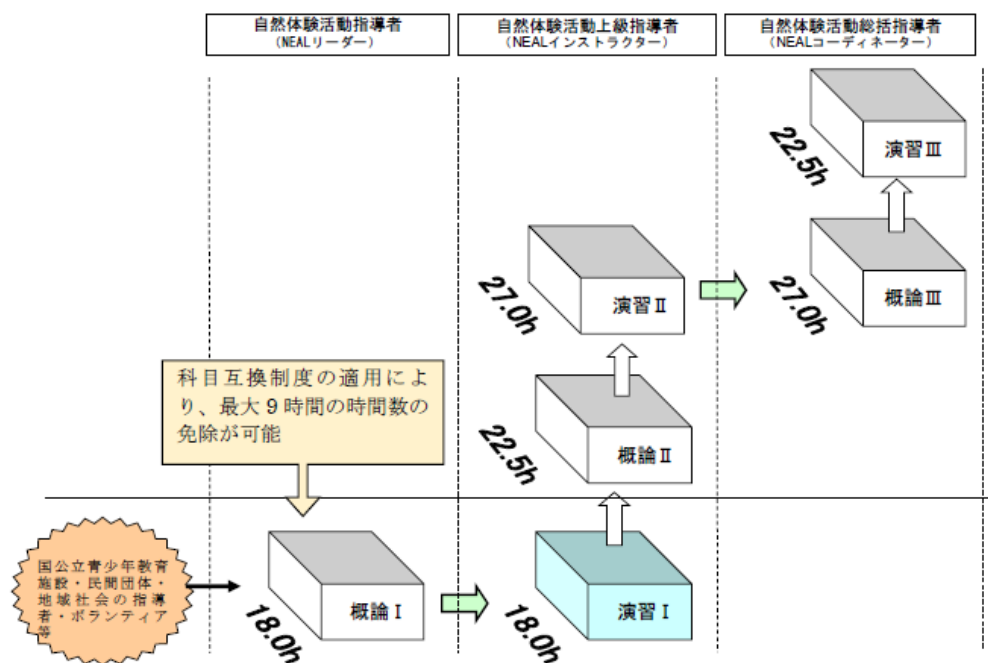
2022年9月文科省主催「学制150周年記念式典」にて基調講演。

課題：現状の学校教育において体験そのものが不足

かつ、体験を学びや成長につなげる理論を理解し実践できる人材（指導者）も不足していると推測される。

NEALについて

- 全国体験活動指導者認定委員会の自然体験活動部会が管理する**自然体験活動指導者認定制度**
- リーダー → インストラクター → コーディネーター
- 上記指導者の養成事業を管理する主任講師の認定も行う
- **毎年約1,400人**の指導者を認定



指導者総数

リーダー	22,713人
インストラクター	186人
コーディネーター	98人
主任講師	35人
(2024.11現在)	

CONEについて

国内唯一となる自然体験活動の普及促進を目指す**民間のネットワーク団体**。

NEALの指導者養成制度の基本設計に全面関与。

設立：2000年5月

加入団体数：180団体

事業内容： 自然体験活動指導者の育成
指導者向け各種研修の実施
会員同士の交流支援

NEAL事務局

教材開発 など



国立青少年教育振興機構に求めること

前提：平和で民主的な社会の形成者としての資質を育むには、教室という箱の中の教育だけでは全く足りない。

1. 体験的な学びを推進する**ナショナルセンターとしての役割**を今まで以上に強化していただきたい。
 - 国がその環境を手放すことは、世の中での不要論を助長することにつながりかねず、子どもたちの成長を間接的に阻害することになると思われる。
2. 特に青少年の成長において体験的な学びの重要性を強く説いていただき、**学校教育との連携を強化**いただきたい。
 - 自分たちが暮らす国の山や川や海を全身で知ることは日本国民としてのアイデンティティを育む大切な要素となりうる。その価値・意義を率先して発表する機構になっていただきたい。
3. かつ立地の強みを活かし、子どもたちが教育活動の一環で**自然に触れる・浸れる環境を提供**し続けてほしい。
4. その自然体験を学びや成長に昇華させることができる人材の育成を**民間と一緒に**推進いただきたい。